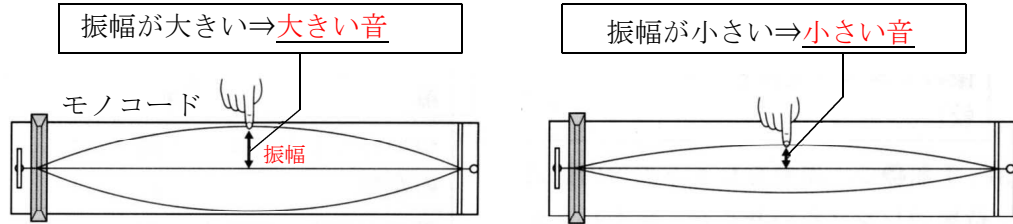


1

(ア) 弦の振動の音の高さと大きさに関する説明の組み合わせとして適するものを選び。



音の大きさ	弦を大きくはじく ⇒	振幅が大きい ⇒	大きい音ができる
	弦を小さくはじく ⇒	振幅が小さい ⇒	小さい音ができる

音の高さ	弦を短くする ⇒	振動数が多い ⇒	高い音ができる
	弦を長くする ⇒	振動数が少ない ⇒	低い音ができる

音の高さは

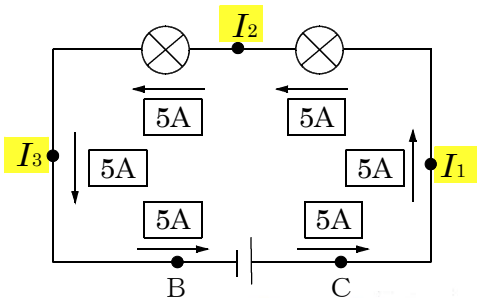
- ①弦が **短いほど高い**
- ②弦の **張り方が強いほど高い**
- ③弦が **細いほど高い**
- 弦を **はじく強さ** は関係しない

	音の高さ	音の大きさ
1	弦の振動の振動数が少ないほど、低い音になる。 ○	弦の振動の振動数が小さいほど、大きな音になる。 ×
2	弦の振動の振動数が多いほど、高い音になる。 ○	弦の振動の振幅が大きいほど、大きな音になる。 ○
3	弦の振動の振幅が小さいほど、低い音になる。 ×	弦の振動の振動数が少ないほど、小さな音になる。 ×
4	弦の振動の振幅が大きいほど、高い音になる。 ×	弦の振動の振動数が多いほど、小さな音になる。 ×

(イ) 電流の大きさの関係を表した最も適する組み合わせを選び。

直列回路

どこでも同じ大きさの電流



並列回路

分かれる前の電流 = 分かれた電流の和

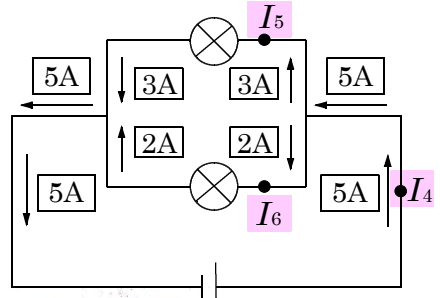


	図1の回路	図2の回路
①	$I_1 = I_2 = I_3$	$I_4 = I_5 + I_6$